

個別支援の基本

市川市生活サポートセンターそら

朝比奈ミカ

本人との援助 関係の構築①

「援助関係はケースワークという臨床過程そのものに流れをつくる水路である」(Biestek)

信頼関係の構築に向けて

- ①ともに存在する時間と空間を大切にする
- ②ありのままを受け止める
- ③感情にアプローチする
- ④面接を活用する
- ⑤協働作業を大切にする

本人との援助 関係の構築②

- 援助関係を活かした支援
 - ① 支援員との関係のなかで自分の「居場所」を確保する
 - ② 現実を直視するための要件とする
 - ③ 変化に必要な力を高める
 - ④ 自己決定の基盤となる安心を提供する
 - ⑤ 感情表現を促して主体性を喚起する
 - ⑥ 考えを深める面接過程を大切にする

本人の力を 引き出す支援

①

ニーズの充足や問題解決の主体を本人におく

本人の気づきを促す

- ①自分自身の感情に気づく
- ②自分の社会関係に気づく
- ③問題発生メカニズムに気づく
- ④自分の長所や強み（ストレングス）に
気づく

本人の力を 引き出す支援 ②

本人の力を活かした支援

- ①具体的に「できること」から始める
- ②前向きな「変化」を評価する
- ③できることの「連鎖」を意識する

本人の力を 引き出す支援

③

本人が決めるプロセスを支える

①本人が決めるための環境を整える

②関係づくりから自己決定につなげる

③周囲との相互作用関係のなかで自己決定を促す

④「揺れ」に付き合う

⑤自己決定の「あと」を担保する

⑥本人の側に立ち代弁することで「自己決定」を支える

相談面接の 意義と目的

- 相談支援における面接とは、ある一定の状況下において支援員と本人とが特定の目的をもって実施する相互作用のプロセスであり、両者間に結ばれる援助関係を基軸として展開されるもの。

相談面接の 3つの目的

- 援助関係の形成
受容、個別化、非審判的態度
- 情報収集
客觀的事実、主觀的事実
- 問題解決
支援員と本人の関係性を基軸として、本人自身が自分の問題について洞察を深め、新たな「気づき」を得ながら問題への対処能力や解決能力を高める

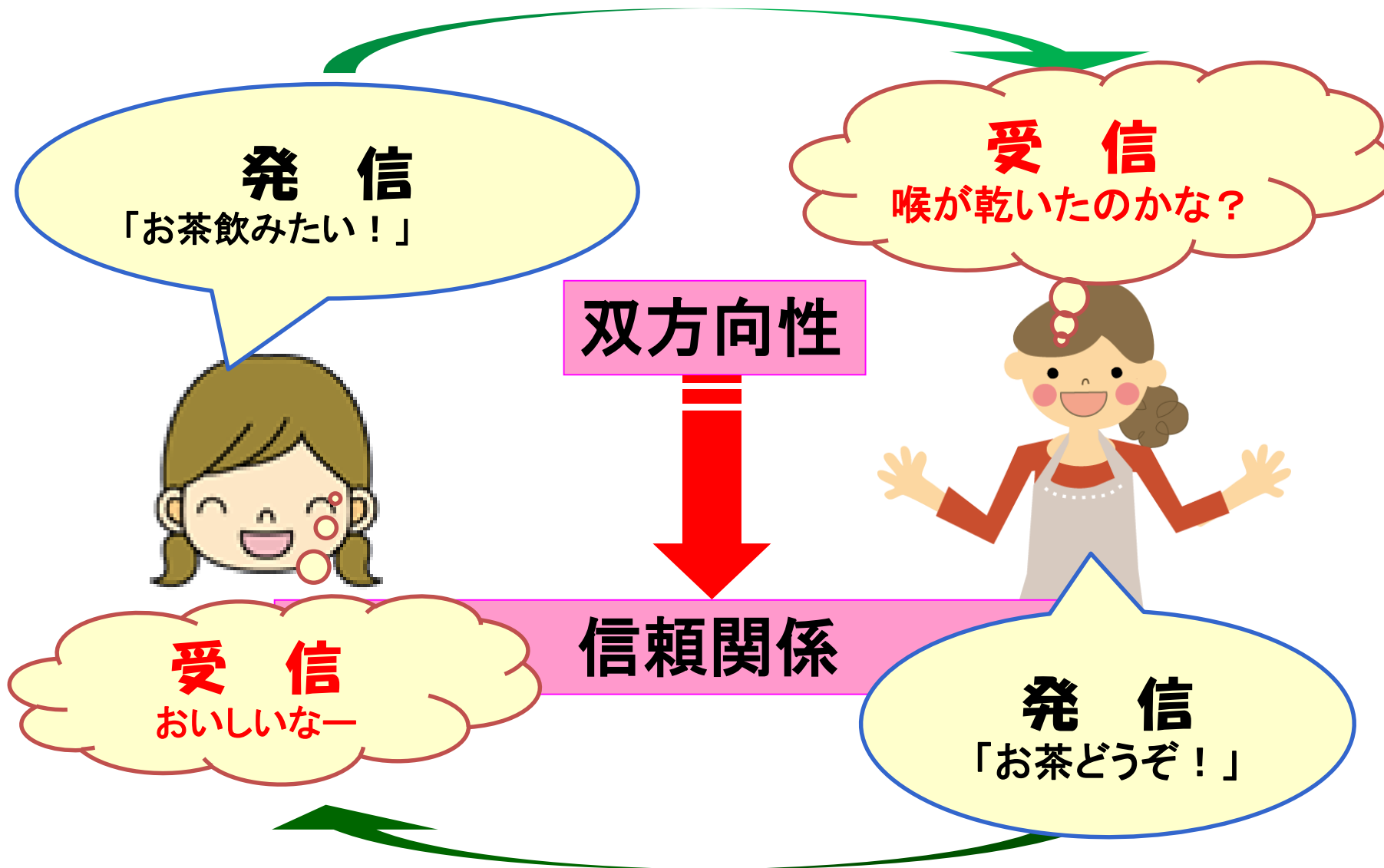
相談面接の方法

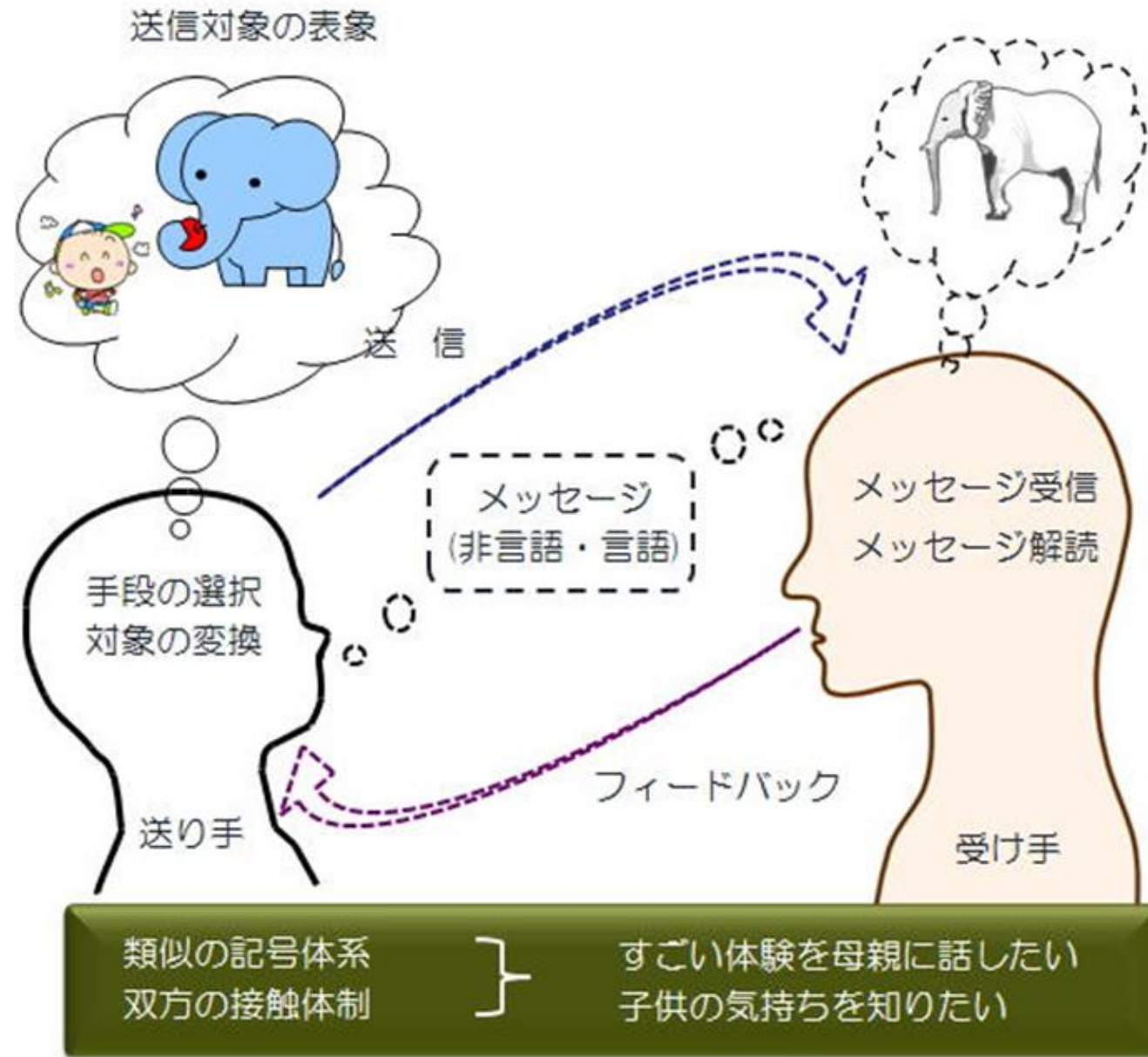
- 面接室や相談室といった面接相談専用の空間で行われる「相談面接」
- 本人の生活場面で行われる「生活場面面接」

コミュニケーションとは

- ラテン語でコミュニカーレ=「分かち合い」
- 人間が意思や感情などを相互に伝え合うこと
- 私たちは日々いろいろな手段を使って気持ち・考え・感じたことなどを相手に伝え「表出」、相手から受け取って理解している「受容」

コミュニケーションに大切なこと





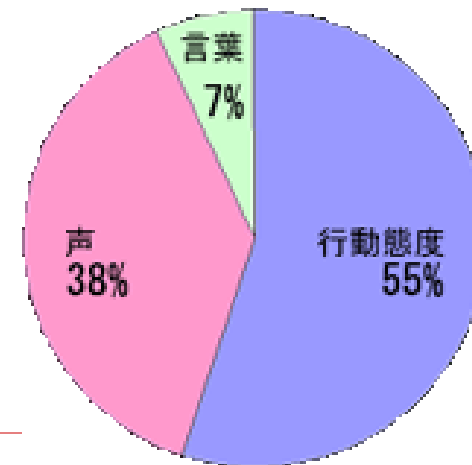
「治療・援助におけるコミュニケーション」三輪書店2008山根寛

「子どもが象を初めて見たとき」から引用

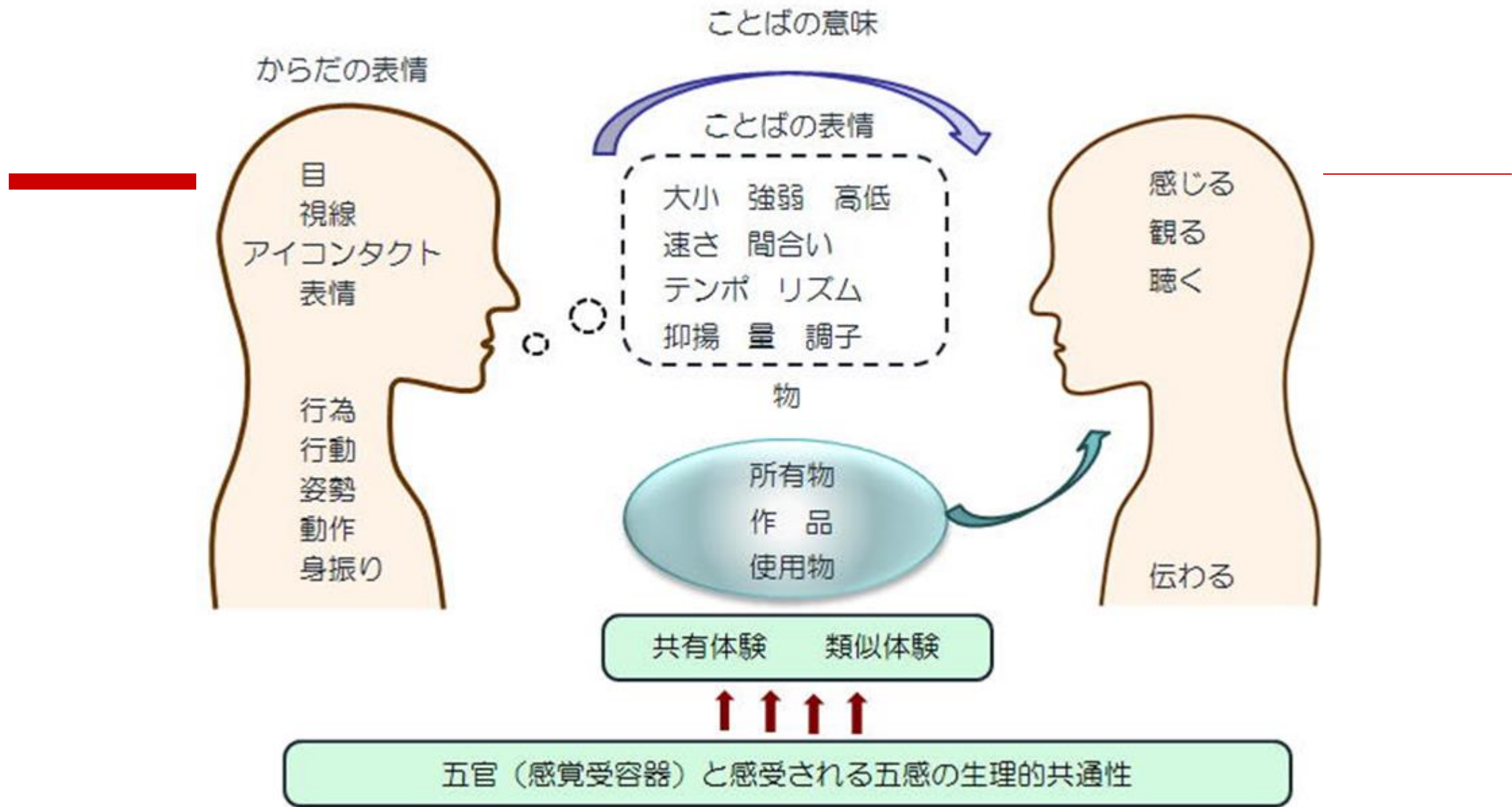
バーバルコミュニケーション と ノンバーバルコミュニケーション

視覚情報 (Visual)	-	見た目・身だしなみ・ しぐさ・表情・視線	…	55%
聴覚情報 (Vocal)	-	声の質(高低)・速 さ・大きさ・テンポ	…	38%
言語情報 (Verbal)	-	話す言葉そのもの の意味	…	7%

実は、言語的な部分は1割にも満たない
ことばだけでは、7%しか相手に伝わらない



言語体系	音声言語（話しことば）	直接的会話 直接会ってする対面会話 間接的会話 電話などの機器を介した会話
	文字言語（書きことば）	筆談, 文字ボード, 電子メール, 指文字など
	記号（表象されたことば）	モールス符号, 点字, 手話, シンボル, 手旗など
非言語体系	パラ言語（ことばの表情）	大小, 強弱, 高低, 速さと変化 間合い, テンポと変化, リズム, 抑揚 語気(語調) ことばの量 ことばの連続性(流ちょう性) ことばの肌理
	身体表象（からだの表情）	身体的特徴 体型, 体格, 容姿, 頭髪, 体臭, 肌の色など 身体的概観 年齢, 性別, 体型, 背丈, 皮膚, 髪など 身体加工 化粧, 髪型, 整形, タトゥーなど 顔 顔立ち, 表情 目 視線, アイコンタクト, まなざし 動作・行動 姿勢, 身振り手振り, 態度, 動作, 行動 接触行為 なでる, 打つ, 抱く, 触れる, 握手など 自律神経系 瞳孔, 心拍, 血圧, 消化系, 排尿, 呼吸, 発汗などの変化
	物（拡張した自我）	身につける物 服装, 装身具 所有物, 使用物（道具, 材料, 物品など） 創作物 絵画, 音楽, 手工芸品など



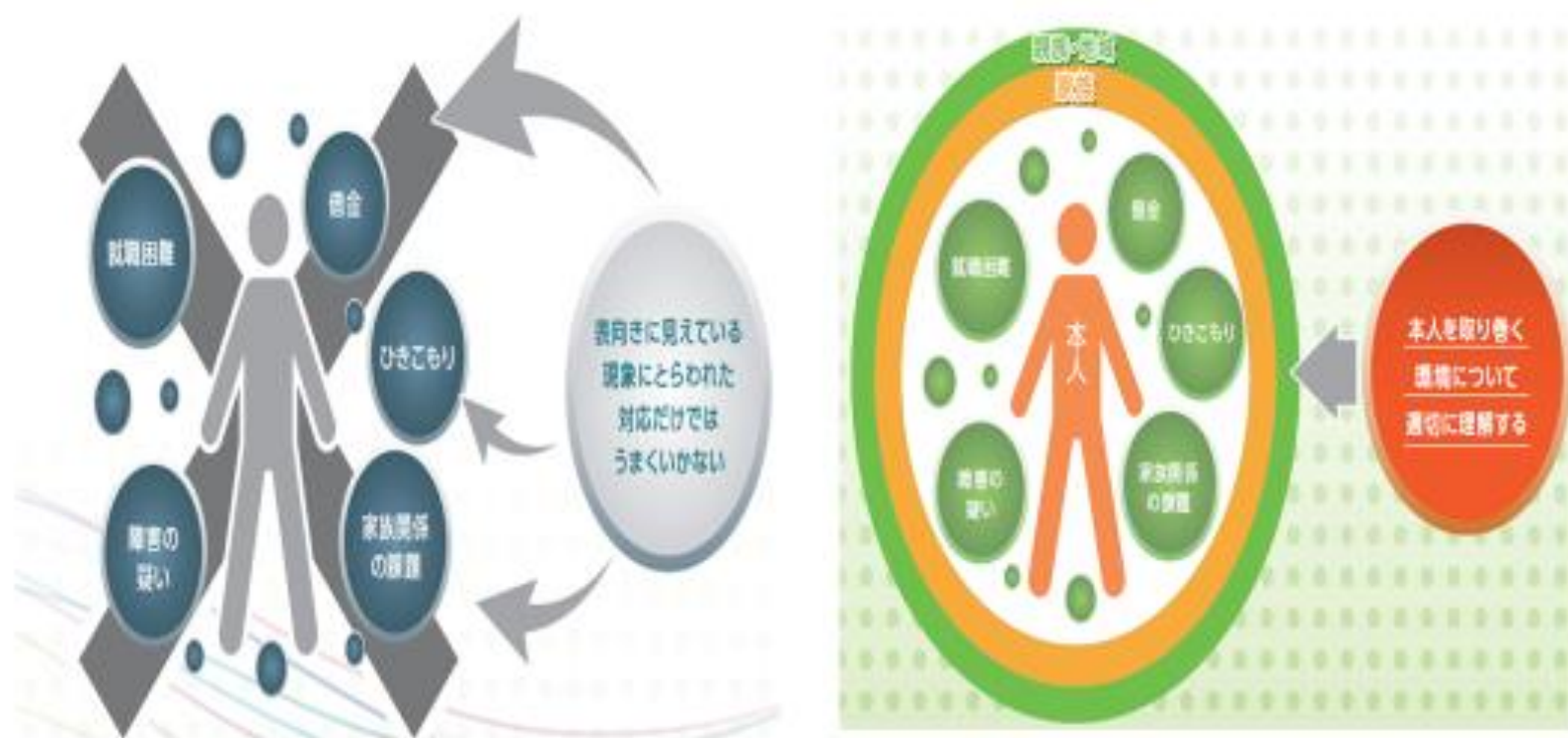
その人を理解 する

- 面接等による言葉のやりとりを通して
- これまでの人生の道筋をたどることを通して
- とりまく人たちの「語り」を通して
- 生活時間や生活行為をとともにすることを通して
- 「感情」をもった私たちが働きかけることを通して

その人を取り
巻く状況を理
解する

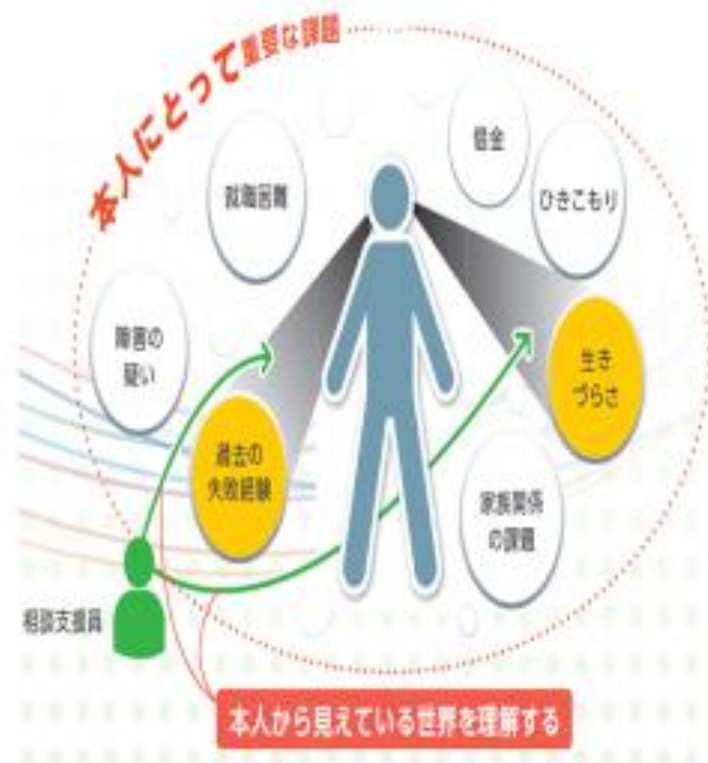
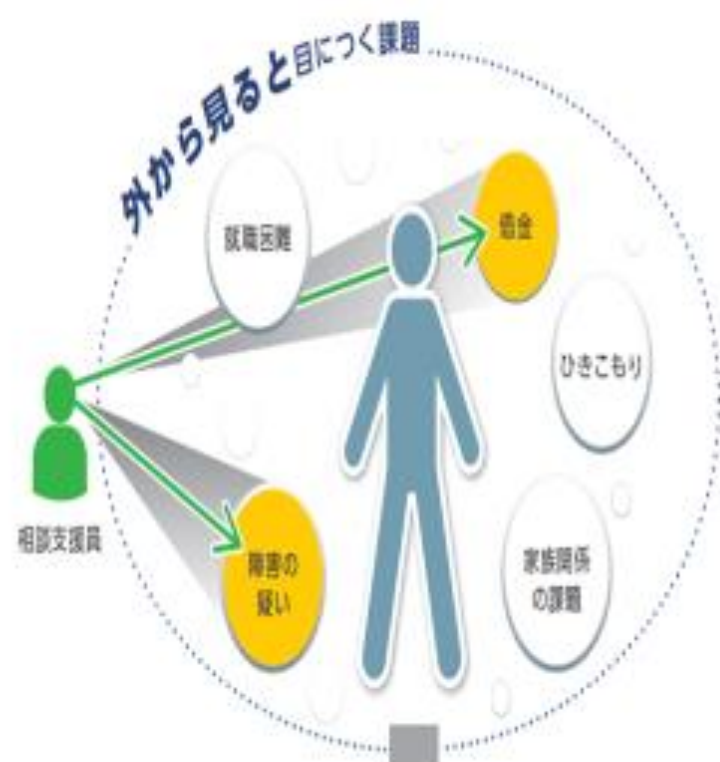
- 身近にいる人たちのこと、相互の関わり
- 暮らしぶり、環境
- 地域社会の状況

本人と周囲の環境を適切に理解する



『事例から学ぶ自立相談支援の基本』(H28年3月/みずほ情報総研)

本人から見える世界への理解を深める



『事例から学ぶ自立相談支援の基本』(H28年3月/みずほ情報総研)

私たちは、一時期にしか関われない



まとめに 代えて

- ・ 自己決定は誰も代われないその人固有のもの、その人の人生そのもの
- ・ 結果と同様に、プロセスが重要
- ・ 写し鏡として、社会への窓として、伴走者として
- ・ 自己決定を支える孤立しない環境づくり
- ・ 「適切に自己を理解し、状況を認識する力」